

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。
なお、紙面は要約してありますので、詳しくは2月中旬に配置予定の会議録をご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

- 小 俣 文 宣 (清風会)
商業政策、みずきの街づくり
- 西 村 福 也 (公明党)
みずきの街の物流センター建設、高齢者の困りごとに対応する支援サービス、自然エネルギーの活用
- 小 倉 良 夫 (民主連合)
開発行政、道路・土木行政、環境行政
- 鶴 岡 潔 (市政クラブ)
教育行政、土木行政
- 松 本 睦 男 (日本共産党野田市議団)
予算編成に対する市長の政治姿勢、見直し中の都市計画、江川地区の自然保護、愛宕駅西地区開発、防災
- 高 梨 守 (民政クラブ)
斎場、船形土地区画整理地内に進出が予定されているイオンモール
- 岡田 早和子 (市民ネットワーク)
みずきの街の物流センター建設計画、街路樹の剪定時期、コミュニティバス検討委員会のあり方
- 長 南 博 邦 (新社会党)
建築行政、医療行政、国民健康保険、人事行政
- 植 竹 健 夫 (清風会)
鉄道、スポーツ振興、旧関宿小跡地利用、関宿版「マイロードのだ」
- 木村 たか子 (公明党)
子供の権利、保健行政、環境行政、消防行政、入札制度改革
- 鈴 木 有 (市政クラブ)
合併支援事業、都市基盤整備、東武野田線の利便性の向上と駅周辺整備、入札制度改革
- 金 子 博 美 (日本共産党野田市議団)
イオン船形ショッピングセンターの進出、高齢者の医療、国保行政、学童保育、教育行政
- 古橋 喜久男 (民政クラブ)
市道認定、防災センター、農政問題、まめばん設置
- 中 井 洋 子 (市民ネットワーク)
市民参加・市民協働のあり方、教育問題「いじめ」に対する取組、江川地区計画、イトーヨーカ堂跡地問題
- 千久田 祐子 (日本共産党野田市議団)
介護保険、環境行政、市営住宅問題、保育行政、窓口業務

大規模物流センター建設 騒音・振動と児童の安全は

小俣 文宣
議員

■質問 みずきの街の大規模物流センター建設計画については、荷物の出し入れのため頻繁に車が通り、そこから発生する騒音や振動により閑静な住宅地が破壊され、交通事故の危険性も大きくなることが予想される。また、児童の通学路の安全に神経質なほど配慮している現状を考えれば、とてもこの建設は容認できないと考えるが、当局の見解を伺いたい。

□答弁 交通や騒音の問題については、車両の通行ル

ートや走行時間帯、生活道路への進入排除を事前協議の中で調整するとともに、必要に応じては地元と事業者で協定書を締結する等の対応も考えられる。具体的には、山崎吉春線は都市計画道路のため、通行禁止等の措置をとることは難しく、事業者が新しい道路を築造することが有効な選択肢と考えている。いずれにしても、都市再生機構に対して、事業者に改善策及び住民との調整を求めるよう強く要望していきたい。

高齢者の困り事へ 市の支援サービスは

西村 福也
議員

■質問 ひとり暮らしの高齢者は、日常生活で困った事が起きてても、自分では解決できず、我慢して生活し

ていることがある。そこで、千代田区や新宿区では、高齢者の不安を解消し、地域で安心して自立した生活ができるように困り事に対応する支援サービスに取り組んでいるが、野田市では、このようなサービスを実施する考えはないのかお尋ねしたい。

□答弁 千代田区と新宿区で実施されている高齢者等に対する困り事への支援サービスについては、社会福祉協議会を中心としたボランティア活動として、地域での支え合いという形で取り組まれていると認識している。野田市で実施する場合には、ボランティア団体やシル

バー人材センターを活用することになると考えているが、日常生活での具体的な要望内容や実施方法等を把握する必要があることから、先進地の事例も調査しながら、社会福祉協議会やシルバー人材センターと協議・研究を進めていきたいと考えている。



困り事への相談窓口(千代田区社会福祉協議会)

一般質問

小倉 良夫
議員

旧川重跡地への企業進出 企業負担で道路整備を

では、旧川崎重工跡地に進出した企業の出入り口となることから、今後の交通事情からすれば道路拡幅と歩道整備が不可欠である。そこで、この道路を出入り口とする企業に、事業費を負担してもらい早期に道路整備を進めるべきと考えるが当局の見解を伺いたい。

■質問 旧川崎重工跡地前の道路については、現況の道路幅員の範囲で歩道も含め、市が整備すべき事業として位置づけている。市としては、平成十七年度にヤマザキシヨップ閑居商店までの約六四〇メートルの現況測量と実施設計を完了し、今年度に排水の流末となるヤマザキシヨップ前の交差点



ヤマザキシヨップ閑居商店前の交差点

マザキシヨップ前の交差点改良に伴う拡幅整備を先行して実施するために測量等を計画している。なお、交差点付近の拡幅計画については、一部地権者の理解が得られず難しい状況となっていることから、引き続き理解が得られるよう交渉していきたい。

キャリア教育の実践

幼・小・中・高の連携を

鶴岡 潔
議員

■質問 野田市では、キャリア教育を強力に推進しているが、キャリア教育にはどのような意義があるのか伺いたい。また、現在、中学二年生による職場体験がクローズアップされているが、キャリアデザインによるまちづくりを考えると幼稚園、小学校、さらには、高等学校と連携したキャリア教育が必要と考えるが、市の方向性をお聞きたい。

■回答 野田市では、キャリア教育を強力に推進しているが、キャリア教育にはどのような意義があるのか伺いたい。また、現在、中学二年生による職場体験がクローズアップされているが、キャリアデザインによるまちづくりを考えると幼稚園、小学校、さらには、高等学校と連携したキャリア教育が必要と考えるが、市の方向性をお聞きたい。

■質問 愛宕駅西地区の商業地造成事業は、九月末には予定どおり整地作業が終了したが、次の動きが見えてこない。清水地区や周辺住民にとって、商業施設の誘致は強い要望であり、イトーヨーカ堂でなくても、既存商店と共生できるまちづくりを進められればよいと考えている。そこで、商業

施設の誘致における今後の見通しをお聞きたい。

■回答 愛宕駅西地区につ

愛宕駅西地区への 商業施設誘致の見通しは

睦 男
議員
松本

いては、土地開発公社による商業用地造成事業の隣接地がイトーヨーカ堂の所有

交渉と並行し、出店に伴う売却条件等の協議も継続している。また、愛宕駅西地区

地であることから、県道からの進入路となる西光院北側道路の拡幅用地等の用地

については、国から示された基本方針を踏まえて、来年度に策定する中心市街地活性化基本計画で重点地区として位置づけ、区域の設定や実現可能な事業等を盛り込む予定であることから、各種事業の進捗にあわせて中心市街地活性化基本計画に基づいた土地利用を図っていききたい。



愛宕駅西地区（イトーヨーカ堂跡地）



野田市斎場

■質問 関宿斎場には、祭壇が常設されているが、常設されるに至った経緯についてお聞きしたい。

また、野田市斎場にある祭壇を購入した経緯と利用状況についても、あわせて伺いたい。

□答弁 関宿斎場の祭壇は、新たに葬儀場を建設する際に、経済性や利便性を

利用者の立場になり検討した結果、誰でも利用できる施設が福祉の向上につながる

きるようになら二つの式場を建設したことから、祭壇の利用はそれぞれのお宅に

野田市斎場と関宿斎場の祭壇設置と利用状況は

高梨 守 議員

ると考え、常設とした。一方、野田市斎場では、さまざまな様式及び人数に対応で

任せるということ、常設はしていない。
また、野田市斎場の祭壇

については、議会からも購入の要望が出され検討した結果、平成五年六月に比較簡素なものを購入した。
なお、祭壇の利用状況については、過去三カ年で平成十五年度ゼロ件、平成十六年度四件、平成十七年度三件あり、平成五年度から平成十七年度までで計七十一件ある。

みずきの街の地区計画と大型物流センター建設

岡田 早和子 議員

■質問 物流センターの建設については、地区計画が都市計画審議会で審議され、地権者の同意を得て、良好な環境にするために決定された市の法律であることから、地区計画を決定した市に責任があると断言する。

そこで、良好な環境のみずきの街に巨大な物流センターがふさわしいと考えているのかお聞きしたい。

□答弁 物流センターの建設計画については、地区計画の方針に基づいた地区整備計画における建築物の用

途制限の中でも制限されておらず、地区計画の方針に反するものではないと判断している。また、みずきの街に調和した施設かどうかについては、今回の物流センター計画は、用途地域と地区計画上においても不適合とは言い切れず、公団がみずから募集要領を作成して、法令、地区計画等に照らし事業者用地を譲渡したこと

から、市としては、地区計画に調和した事業計画になるように指導していきたいと考えている。

総合計画に盛り込まれた市民病院建設の検討・結果は

長南 博邦 議員

■質問 市民病院の建設は、総合計画策定の際に市民からの要望が大変多かったことから、総合計画の中

に検討するということが盛り込まれた。そこで、どのような検討をし、どのような結果が出されたのか伺いたい。また、それを踏まえて、今後、どのように進めていくのかお聞きしたい。

□答弁 市民病院の建設については、地域医療体制の整備に関する基礎調査を行い、将来的に必要な医療機能を予測した上で、自治体における病院の設置運営形態を検討した結果、公設・公営の病院経営は赤字が多く、大学附属病院の誘致でも相当の財政負担が必要という答えが出されている。また、財政上の問題のほか、野田市でも、小張総合病院か



24時間救急医療体制をとる小張総合病院

らも二十四時間の小児医療体制を維持することが難しいという申し出もあるなど、マンパワーの確保という問題もある。いずれにしても、財政負担やマンパワーの確保等の課題を整理した上で、市民が何を望んでいるのか十分検討したい。

一般質問

■質問 東武野田線の連続立体交差事業は、野田市駅と愛宕駅を含む約二・九キロメートルを高架化し、踏切を十カ所除去すること、道路交通の円滑化を図るとともに、街路及び駅周辺の面整備による市街地の一体化を図るために推進しようとするものである。そこで、今後のスケジュール

辺の土地区画整理事業と都市計画道路を一体的に整備する計画であり、実施され

が得られた後に測量や各種調査、実施設計、事前調整等を二年ほどかけ準備し、工

鉄道連続立体交差事業 今後のスケジュールは

有議員
鈴木

事に着手するので、事業認可から十年程度での完了を目指すことになる。具体的には、今年度に地質調査、鉄道周辺の測量、鉄道構造物の実施設計を行い、平成十九年度以降に、実施設計の継続、仮線等の用地補償及び確保、仮線・仮駅の工事、本体工事等の順番で進める計画と伺っている。



まちづくりのイメージ図（愛宕駅前）

■質問 旧関宿小学校の跡地については、キャンプ場だけではそれほど多くの利用者が見込めず、季節的な

旧関宿小学校の跡地 合宿地としての活用は

植竹
健夫
議員

偏りができてしまうと思う。そこで、キャンプ場を核に野球やサッカーが可能な芝生広場を周辺に整備すること、少年野球や少年サッカー等の合宿地に発展させてみてはどうかと思うが当局の見解を伺いたい。

■答弁 旧関宿小学校の跡地は、青少年健全育成のためのキャンプ施設及び多目的広場として、平成十九年四月のオープンを目指し整備を進めている。跡地の整備については、多くの市内外の方に利用していただけるような施設にするため、旧関宿小学校等跡地利用促進会議を開催し、青少年健全育成団体を初め二十六名の



旧関宿小学校跡地

委員から、関宿城周辺の自然・歴史探索、天体観測等の体験教室、酪農・農業体験、サイクリングの拠点など、幅広いメニューづくりの意見をいただいた。今後は青少年健全育成団体等の協力を得ながら利活用を検証し、実施できるものから進めていきたい。

ハート・プラス・マーク

市の認識は

子議員
木村

■質問 ハート・プラス・マークは、心臓機能障害により電波の影響を受けやすい方や内部障害の方は外見からは分かりづらく、さまざまな誤解を受けることから、周囲の方々の理解を求めることを目的に作成された。そこで、我が国では、内部障害や内部疾患というハンディが十分認識されていないが、市はこのマークをどのように考えているのかお聞きしたい。

■答弁 ハート・プラス・マークは、まだできて日が浅いことから、認知度も低い状況にある。また、内部障害については、平成十七年度末で身体障害者手帳をお持ちの方のうち約二十八%の方が該当すると認識している。市としては、障害及び障害者に対する正しい理解を促進する必要があることから、ハート・プラス・マークについても広く認知され、内部障害者に対する理解と円滑な社会参加が図れるよう、市報等による広報、啓発を通じて周知に努めていきたいと考えている。



船形土地区画整理事業地

■質問 イオンモール株式会社の進出については、昨年の十二月定例会で既存商業者に甚大な影響を及ぼし、ジャスコノア店の撤退にもつながりかねない指摘した。根本的な問題は、工業専用地域をショッピングセンターも出店できる区画整理に変質させたことである。七光台の住工混在を解

消できなくても、当初計画を曲げずにいけば、問題は起きなかったと考えるが、

在の解消を図るため、暫定的に全地域を工業専用としていたが、経済情勢の変化

ので、早く売る必要があった。市としては、区画整理を具体化する際に、この地区は、国道十六号線に隣接し地区内を我孫子閑宿線が縦断することから、流通業務施設用地等の需要があり多岐にわたる土地利用が可能と考え、国道十六号線沿いの用途地域を準工業地域に変更した。

イオンモールの進出と用途地域を変更した理由

金子博美 議員

当局の見解を伺いたい。

■答弁 船形の土地区画整理事業は、七光台の住工混

により船形へ移転する企業がなく、このまま放置しては金利負担の問題が生じる

もみ殻・牛ふんを活用した堆肥化への取り組みは

古橋喜久男 議員

■質問 先日、睦沢町に設置されているかずさ有機センターを視察してきたが、この有機センターは、睦沢町と一宮町が事業主体となり、もみ殻と牛ふんを混合して二カ月程度の短期間で完熟堆肥にするすばらしい施設でした。そこで、野田市には畜産農家もあり、米や野菜をつくっている方も多いことから、これを活用できないかと思うが、当局の見解を伺いたい。

が非常に好評であり、農家の需要にこたえられない状況にある一方で、ふん尿堆肥が余りぎみとなっているのが現状である。市としては、発酵促進剤により牛のふん尿やもみ殻を約二カ月で堆肥にしている睦沢町での事例等を活用し、野菜農家が使いやすい価格で堆肥を配布できるシステムが構築できれば、減農薬や有機栽培が普及し、野田市の農産物がほかの地域の農産物と差別化できるのではないかと考えている。

いじめ問題の対応に抜本的な取り組みを

中井洋子 議員

■質問 先日、視察してきた高知県の土佐の教育は、あくまでも子供の立場に立つことで、子どもの権利条

約を学校・学級に生かした取り組みとなっていた。野田市でも一方的な管理教育ではなく子供の声を聞くような抜本的な取り組みが必要と考えている。また、いじめへの新たな取り組みでも、隠すことなく、担任が守るからと繰り返し発言しているが、これまで実践されてこなかったという認識からなのか伺いたい。

■答弁 土佐の教育については、地方分権、規制緩和の中、独自性を持った取り組みと評価している。また、子供一人一人の個性を生かし、主体的・創造的にいろいろな活動ができる場所を設定していくことも必要と考えているが、

いじめについては、指導すべきことはきちんと指導する毅然とした態度も必要であると考えている。また、市としては、事実として明らかにすることを学校に指導していることから、仮に隠すような体質があったのであれば、改善していきたい。



「第2期土佐の教育改革」のパンフレット